

今週（8月30日から9月3日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、引き続き邦銀を中心に調達意欲の強い展開となった。無担保コールO/N物は、週初からオファーが徐々に減少した事で、ビッドレートは週後半に掛けて上昇していった。無担保コールO/N加重平均レートは、▲0.036～▲0.02%前後で推移した。ターム物は、1W～3W物を中心に▲0.03～▲0.01%での出合いが散見された。日銀当座預金残高は、週前半は短国の償還等により539兆円程度まで増加したものの、後半には税揚げ等により530兆円程度まで減少した。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.095～▲0.07%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、2年410～428、5年140～148、10年345～363、20年170～177、30年59～71、40年10～14などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、特段の材料もなく動意に乏しい中、散発的に出合いが見られるだけの閑散なマーケットとなった。

31日に行われた短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、弱めの結果となった。応札倍率が上昇し、売却需要の高まりを印象付ける結果となった。

3日に実施された3M物の入札は、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は月初の発行にあたり、一部の業態から大型発行が実施されたものの、総じて発行案件の少ない落ち着いたマーケットとなった。発行レートは、引き続き概ねマイナス圏内で推移しているが、荷もたれ感の強い月中物を中心に、0%付近で決着する案件も見られた。市場残高は月末の8月31日こそ25兆円を僅かに下回ったものの、9月に入ってから25兆円台で推移している。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/30 (月)	27,789.29	0.015	109.74	△ 0.036	△ 0.085	5,377,400
8/31 (火)	28,089.54	0.020	109.87	△ 0.036	△ 0.086	5,393,100
9/1 (水)	28,451.02	0.025	110.26	△ 0.032	△ 0.080	5,358,300
9/2 (木)	28,543.51	0.029	109.97	△ 0.026	△ 0.075	5,338,100
9/3 (金)	29,128.11	0.035	109.93	△ 0.020	△ 0.075	5,300,900

来週（9月6日から9月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
9/6 (月)					New York祝日 (Labor Day)
9/7 (火)	8月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 7月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 7月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y 9,000億円 9/8発行			4-6月期のユーロ圏GDP確報値
9/8 (水)	4-6月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 7月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 7月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 8月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				米ページブック 7月の米消費者信用残高
9/9 (木)	8月のマネーストック(日銀 8:50)	TB6M 34,000億円 9/10発行	5Y 25,000億円 9/10発行		ECB定例理事会(金融政策発表)
9/10 (金)		TB3M 50,000億円 9/13発行	エネルギー 対策借入 6,000億円 9/21借入		8月の米生産者物価指数 7月の米卸売売上高

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/6 (月)	800	12,200	13,000	国債買入 CP買入 社債買入	▲ 200 ▲ 100	10,700	10,400	23,400	TB3M発行▲50000償還62800
9/7 (火)	1,000	0	1,000				0	1,000	交付税借入▲10500期日10500
9/8 (水)	0	▲ 13,000	▲ 13,000				0	▲ 13,000	30Y発行▲9000
9/9 (木)	0	2,000	2,000	社債買入		1,300	1,300	3,300	
9/10 (金)	0	▲ 31,000	▲ 31,000				0	▲ 31,000	5Y発行▲25000 TB6M発行▲34000償還27200 交付税借入▲10500期日10500
週間合計	1,800	▲ 29,800	▲ 28,000	—	▲ 300	12,000	11,700	▲ 16,300	

9/6は日銀予想、9/7以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、邦銀を中心に調達意欲が強いなか、オファーが減少した状況が継続される見込みであり、引き続き出合いレートは高水準となる事が予想される。その他、16日以降は、地域金融強化のための特別当座預金制度のOHR要件を満たした先に、特別付利（+0.1%）が支払われるようになる。市場に対して影響が出るかどうか、注目される。また、9日には「2021年9月積み期間に適用する基準比率」が発表される予定となっている。新型コロナオペの金額次第ではあるが、20.5%程度（8月：18.5%）を予想する。レポ市場は、GC T/Nは、参加者のスタンスに大きな変化がなければ引き続きレートは横ばい圏で推移すると見られる。短国市場は、9日に6M物、10日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、7日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、9月末を控えて事業法人の発行動向が注目される。また、10日にCP等買入オペが予定されており、レート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では8日に4-6月期のGDP2次速報、海外では7日に4-6月期のユーロ圏GDP確報値、8日にページブック、9日にECB定例理事会が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。